

2022年1月4日

核保有5ヶ国による核軍縮の推進に向けた共同声明について【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 石川 聡一郎

1. 共同声明は核廃絶に向けた第1歩

米国、中国、ロシア、英国、フランスの5ヶ国は、核軍縮の推進に向け「核保有国同士の戦争回避や戦略的リスクの低下が我々の最も重要な責務だと認識している」との共同声明を発表した。核拡散防止条約（NPT）の締結国である核保有5ヶ国が認識を合わせたことは、今後の核廃絶にむけた第1歩である。

2. 核軍縮に向けて具体的な工程表を

共同声明が発表された一方、核軍縮の進展に向けて、具体的な道筋が描かれていない現状に変わりはない。昨今、台湾海峡や東シナ海をめぐって、大国間での軋轢が生じているが、国連常任理事国でもある5ヶ国には、引き続き外交による協議を重ね、まずは核軍縮に向けた具体的な工程表をしめし、その責任を果たすよう求める。

サービス連合は平和産業で働くものの立場から、引き続き核廃絶にむけ取り組む。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>